

学校づくりと 学校事務職員



昨年冬の集会で講演をしていただいた石井拓児さんに再び登場していただきました。

『歴史は繰り返される』

1950年代に発生した貧困問題、学力問題等、さまざまな問題や課題。現代に通じるものがあります。

そんな50年代に教職員の中から生まれた言葉「学校づくり」。教職員だけでなく、地域と一体になって学校・子どもたちを良くするために何が必要か。いくつかの問題が提起されています。

2013冬の集会in大阪で行った講演は121号に掲載されています

《いろいろな学校》

全国にはさまざまな場所にさまざまな形態の学校があります。離島にある学校、山の中にある学校、そして教育再生会議で打ち出されている小中一貫校。実際に勤務している学校事務職員に様子を伺いました。

目次

<特集:学校づくりと学校事務職員>

- 冬の集会
 - ▷第一部 講演「子どもの成長と学校づくり」
—学校づくりの今日的課題と学校事務職員—
 - ▷第二部 実践報告
今、旬の“子どものための学校事務”を！
—学校に「居る」ことと「要る」こと—
- 日本全国いろいろな学校
 - ▷離島の学校の様子
 - ▷神々が棲む谷の学校
 - ▷小中一貫校に勤務して
 - ▷A小学校A中学校連携校に勤めて
 - ▷「いっしょに住むって？」
施設一体型小中連携校の毎日

《連載》

- 子どもを守るセーフティネット
- 3.11 その後
 - ▷忘れ去られた放射能 ～横浜の場合～
 - ▷東北ブロックから被災地を見る
- おすすめの一冊
 - ▷生活保護 VS 子どもの貧困
 - ▷パワハラに負けない！

2014年7月11日発行

A5判 56ページ

500円 (送料82円)

編集・発行 全国学校事務職員制度研究会

注文はこちらへ

■ <http://www.bekkoame.ne.jp/ha/seidoken/>

(「制度研」で検索できます)

■ E-mail seidoken@ha.bekkoame.ne.jp

■ 神奈川県横浜市立中山中学校
植松直人

〒226-0013

神奈川県横浜市緑区寺山町653-21

TEL 045-931-2520 FAX 045-934-4676